

信州 なかののシンボル



NAKANO スナッパ



日食観察会

◀貴重な天体現象を観察する参加者

5月21日、市立博物館において、日本の陸地では25年ぶりに観測される金環日食に併せた日食観察会を開催しました。当日は、約100人の皆さんが参加し、観察用のプレートやメガネを手に空を見上げました。

午前6時20分ごろから太陽が欠け始めると、参加者から歓声が上がりました。会場では、鏡の反射やピンホールの原理を利用した観察が行われ、最大食となった午前7時35分ごろまで、宇宙の神秘を体験しました。



アオダモ植樹式

◀500本目の苗木が植樹されました

5月7日、市営野球場において、株式会社長野県民球団から市に寄贈された、アオダモの苗木の植樹式が行われました。

アオダモは野球バットの材料となる木で、野球の普及啓発を図り、スポーツを柱とした元気なまちづくりを進めることを目的に、寄贈された500本の苗木は、市営野球場のほか、市内小中学校や保育園など公共施設へ植樹しました。



中野市水防訓練

◀不測の事態に備え訓練する消防団員ら

梅雨の出水期を前に5月20日、千曲川左岸の本沢川樋門付近を会場に水防訓練を行いました。当日は、災害を最小限にとどめることを目的に消防団員や水防員、地元自警団員ら約300人が参加しました。

今回の訓練では、台風の影響により千曲川の水位が上昇し、河川の氾濫の危険性が増しているとの想定の下、積み土のう工やシート張り工、月の輪工などの訓練を行い、水防技術の向上と水防体制の強化を図りました。

チョウゲンボウ探鳥会

▶ 望遠鏡をのぞき熱心に観察する参加者

5月26日、国指定天然記念物「十三崖のチョウゲンボウ繁殖地」において、チョウゲンボウ探鳥会を開催しました。当日は市内外から約40人が参加し、夜間瀬川の河川敷を歩きながら、巣穴にいるチョウゲンボウや河川周辺に生息する鳥たちを望遠鏡などで観察しました。

また、講師の日本野鳥の会会員の北澤善政さんと日本イヌワシ研究会会員の常田英士さんから、チョウゲンボウの生態などについて説明を聞きました。



カチューシャふるさとマラソン大会

▶ 中心市街地をランナーが駆け抜けました

中野市体育協会主催の第23回カチューシャふるさとマラソン大会が5月20日、中野小学校を発着点に開催されました。当日は晴天に恵まれ、少し汗ばむ陽気の中、市内外から過去最多となる約1,000人のランナーが参加し健脚を競いました。

また、招待選手として北野建設株式会社スキー部部長の荻原健司さんや姉妹都市の北茨城市から市民ランナー6人が参加し、大会を盛り上げました。



信濃グランセローズ公式戦

▶ ホームで富山サンダーバーズに快勝

BC（ベースボールチャレンジ）リーグ公式戦、信濃グランセローズ対富山サンダーバーズの試合が、5月13日、市営野球場において行われました。当日は825人が観戦し、高嶋副市長による始球式などのオープニングセレモニーの後、試合が始まると赤く染まった応援席からは熱い声援が送られました。

試合は、5対3で信濃グランセローズが逆転で勝利し、試合終了後は御天領締めで勝利を祝いました。



表紙の説明

「2012なかのバラまつり」開幕

6月1日、一本木公園において、2012なかのバラまつりが開幕しました。

開会式には、バラの名産地であるブルガリア共和国から、駐日ブルガリア共和国大使とバラの女王が来場し、園内において記念植樹などを行いました。

19回目を数える今年のバラまつりは、「香り」をテーマに6月24日まで開催。バラの高貴な香りに包まれた会場へ、ぜひお出掛けください。

